

新しい社会

基礎・基本 徹底ワーク

新しい社会 地理 基礎
東京書籍編集部

徹底ワーク

基礎

600円
(本体546円)
B5判・144頁
4色刷

解答編付き

東京書籍

新しい社会 歴史 基礎
東京書籍編集部

徹底ワーク

基礎

600円
(本体546円)
B5判・160頁
2色刷

解答編付き

東京書籍

新しい社会 公民 基礎
東京書籍編集部

徹底ワーク

基礎

500円
(本体455円)
B5判・112頁
2色刷

解答編付き

東京書籍

基本事項をまとめよう
問題にチャレンジ

●基本事項をまとめようでは、
基礎・基本となる用語を確認
できます。

●問題にチャレンジでは、
「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」
の基本問題で実力を養います。

『新しい社会』に
完全準拠した
ワークブックです。
教科書の流れに
沿った構成で、
基礎・基本の
確実な定着を
図ります。

基本事項をまとめよう
↓
問題にチャレンジ
↓
演習問題
↓
基本事項の確認(一問一答)
↓
総合問題

の構成で、段階的に
基礎・基本を身に付
けることができます。

1 地形から見た日本の特色

教科書 p.158~161

●基本事項をまとめよう

1 地形から見た日本の特色

- 地震の震源や火山が連なる地域 日本は、火山の活動や地震の発生、大地の変動が活発な(①)帯に位置している。主な(①)帯は、山脈(②)地域と、ヨーロッパの(③)山脈からアジアの(④)山脈を通りインドネシアに至る地域である。
- 険しい日本の山地 日本列島は陸地の約4分の3が山地と丘陵地で、山脈が連なり、多くの火山もある。本州の中央部にある飛騨、木曾、赤石の三つの山脈は日本アルプスとよばれる。日本列島の地形は、(⑤)を境に東西で大きく異なる。
- 急で短い日本の川 日本列島を流れる川は大陸に見られる川と比べて短料が(⑥)で、流域面積が小さい。日本では一年を通して雨が降り、短期間に大量の雨が降ることもあるため、川を流れる水の量の変化が大きい。
- さまざまな地形が見られる平地 日本の人口の大部分は、(⑦)や盆地といった平地に集中し、平地には、川が山間部から(⑧)や盆地に出た所に土砂がたまっている(⑨)、川が(⑩)や湖へ流れこむ所ができる(⑪)、低地より一段高い(⑫)などの地形が見られる。

日本の地形の模式図

●変化に富む日本の海岸 日本の海岸には、岩場が続く(⑬)海岸と、一面が砂がおおわれた(⑭)海岸とがある。(⑮)海岸には砂丘が発達している所もある。奥行きのある湾と岬が連続する(⑯)も見られる。

●海洋国・日本 日本は東に太平洋、西には日本海など、海に囲まれた島国である。近海には深さ8000mをこえる世界有数の海溝や、深さおよそ200mまでの平たんな(⑰)が見られる。

豆知識 フォッサマグナは、ナウマンソウで知られるドイツの地質学者ナウマンによって発見された。

学習日 月 日 月 日 月 日 組 番

●問題にチャレンジ

(1) 資料1を見て、次の問いに答えなさい。

資料1

① 日本列島は、a型太平洋地域、bヨーロッパからインドネシアに至る地域とのどちらの変動帯に属するか、記号で答えなさい。
② 資料1のX(▲)は何の分布を示しているか、当てはまる語句を答えなさい。

(2) 次の文で説明されている地形を何というか、資料2を参考にして答えなさい。

資料2

① Aは山間部から平地に出た付近に発達する地形で、水はけが早い。
② Bは山に囲まれた内陸部の平地である。
③ Cは湖に囲まれた平地である。
④ Dは川の河口付近に土砂がたまっている地形である。

(3) ●記述 資料3は、日本と世界の川について、河口からの距離と標高との関係を示したものです。日本の川にはどのような特徴があるか、資料を参考にして簡単に説明しなさい。

資料3 日本と世界の川の比較

① グラフの示す「河口からの距離」と「標高」から、日本の地形と河川の流れの速さを考えよう。

② 日本列島の地形と地域区分

豆知識では、学習内容に関連する知識を紹介しています。

知思 評価の観点別の配点を設けています。

問題演習のコーナーでは、小問ごとに評価の観点(知識・技能、思考力・判断力・表現力)を示しており、評価に活用できます。

演習問題 市場経済の仕組みと金融

40分

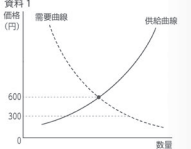
Table with 2 columns: 記号, 配点. Rows 1-4 with points 7, 5, 5, 7.

1 (市場経済と価格の決まり方～価格の動き)

次の文章を読んで、下の各問に答えなさい。

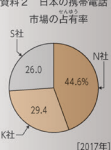
財やサービスが売り手と買い手との間で売買される場を市場という。a市場で取り引きされる際の価格は、主に需要量と供給量との関係で決まる。しかし、市場の状況によっては、c価格が需要量と供給量を反映しにくくなることもある。また、電気、ガス、水道などの価格は、大きく変動すると国民生活に大きな影響をあたえるおそれがあるため、市場で決めず、d国や地方公共団体が法定・規制している。

- (1) 下線部 a の価格を何というか、答えなさい。
(2) 下線部 b について、資料 1 は、ある商品の需要量、供給量と価格の関係を表したグラフです。このグラフから分かることを述べた右の文の空欄 X～Z に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。(佐賀県 2019)



資料 1 において、価格が 300 円のとときには (X) 量が (Y) 量を上回っている。そのため、価格は次第に上がっていき、600 円になると、(X) 量と (Y) 量が一致する。このときの価格 600 円を (Z) 価格という。

- (3) 下線部 c について、次の各問に答えなさい。
資料 2 日本の携帯電話市場の占有率
① 右の資料 2 のように、市場で商品を提供する企業が少数の状態を何というか、答えなさい。
② ①の状態のとき、少数の企業が足並みをそろえて価格を決めることがあります。このような価格を何というか、答えなさい。
③ ①や②によって消費者が不利にならないように、企業間の自由な競争をうながすために定められている法律の名称を答えなさい。
④ ③の法律に基づいて、監視や指導を行っている機関名を答えなさい。

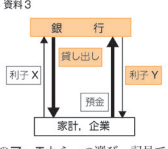


2 (貨幣の役割と金融～グローバル経済と金融)

次の文章を読んで、下の各問に答えなさい。(青森県 2019 改)

資金が不足している人と余裕がある人との間で資金を融通することを a 金融という。そして、金融機関のうち、代表的なのが銀行であり、都市銀行や地方銀行などいくつかの種類がある。銀行の仕事の中で重要なものは、人々の貯蓄を預金として集め、それを b 家計や企業に貸し出すことである。また、日本の c 中央銀行である日本銀行は、特別な動きをする銀行である。日本銀行は d 景気や物価に働きかける金融政策も行っている。

- (1) 下線部 a について、金融の方法のうち、企業などが株式や債券を発行することで資金を借りることを何というか、答えなさい。
(2) 下線部 b について、資料 3 は銀行と家計、企業との間の金融の様子です。利子 X と利子 Y では、どちらの金利が高いか、記号で答えなさい。また、そのように判断した理由を簡潔に説明しなさい。
(3) 下線部 c について、日本銀行の役割として適切でないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 家計や企業に資金を直接貸し出し、市場に預金通貨を流通させる。
イ 一般の銀行に資金を貸し出したり、一般の銀行から預金を受け入れたりする。
ウ 日本銀行券とよばれる紙幣を 4 種類発行し、市場に流通させる。
エ 政府が集めた税金や国債の発行で得たお金を預かったり、公務員の給料や公共事業の代金を政府の代わりに支払ったりする。
(4) 下線部 d について、景気や物価について、次のア～エから適切なもの一つを選び、記号で答えなさい。
ア 物価が急激に変動すると、家計は大きな影響を受けるが、企業はほとんど影響を受けない。
イ 不景気ときには、物価が下がり続けるデフレーションになることがある。
ウ 1973 年の石油危機のときには、石油製品を中心に物価が下がり、人々の生活を圧迫した。



総合問題

総合問題 1

50分

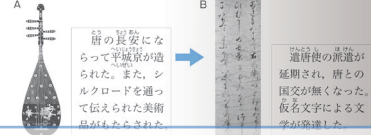
Table with 2 columns: 記号, 配点. Rows 1-5 with points 6, 6, 7, 7, 6.

下の表は古代から中世にかけての政治をまとめたものです。これを見て、各問に答えなさい。

Table with 2 columns: 時代, 出来事. Rows for Ancient (古) and Middle Ages (中世).

- (1) ①, ②は、年表の A～ケのどの時代の出来事か、記号で答えなさい。
① 最澄や空海が唐から帰国し、新しい仏教を伝えた。
② 南北朝の争乱の中で、守護が勢力を強め、守護大名と呼ばれるようになった。
(2) A～C の文章は、年表の A～ケのどの出来事に関連するか、記号で答えなさい。
A 「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。」
B 「諸国の守護の職務は、京都の御所の警備と、謀反や殺人などの犯罪人の取りしに限り。」
C 「この世をば わが世とぞ思う 望月の欠けたることも無しと思はば。」
(3) ①～③の出来事を表に入れるとしたら、A～ケのどの後に入れたらよいか、記号で答えなさい。
① 白河上皇が院政を始め。
② 桓武天皇が大仏の造立を命じる。
③ 後醍醐天皇が建武の新政を始め。
(4) 年表の A～ウのころ、日本はどのような国を目指していたか、簡単に説明しなさい。
(5) 中世に政治を行っていたのは、どのような身分(階層)の人たちだったか、年表の A～ケの人物から考えて答えなさい。

A～D の資料を見て、各問に答えなさい。



学習日 月 日 月 日 月 日 月 日 組 番



- (1) 資料 A, B はどちらも古代の代表的な文化財です。古代の文化の変化の特色はどのようなものが、各資料の説明を参考に、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 国際的な文化から日本風の文化へと変わった。
イ 日本風の文化から国際的な文化へと変わった。
ウ 武士風の文化から貴族風の文化へと変わった。
エ 貴族風の文化から武士風の文化へと変わった。
(2) 資料 A が取られたのは、東大寺にある建物に答えなさい。
(3) 資料 C, D は中世の代表的な文化財です。この二つに共通する中世の文化の特色を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 民衆が創った文化 イ 神宗の影響を受けた文化
ウ 武士好みの力強い文化 エ 貴族好みのはなやかな文化
(4) 資料 C, D のころの社会の様子として適切でないもの一つを選び、記号で答えなさい。
ア 院上りの風潮が広がり戦国大名が出現
イ 農民たちは年貢の減免などを要求して、土一揆を起す
ウ 惣という自治的な組織が作られ、村のおきてが定められる
エ 調・庸の税や兵役などが重い負担になり、逃げる農民が増える

3 次のア～エは、飛鳥時代から室町時代にかけて、都に並べかえられてきた様子について述べたものです。時期の古い順に並べかえなさい。

- ア 大宝律令が制定され、唐の国交が無くなった。
イ 各地で豪族の勢力が拡大し、地方の政治が乱れた。
ウ 紙に書いて任命する政治が行われるようになった。
エ 各地で豪族の勢力が拡大し、地方の政治が乱れた。

解答編

Advertisement for 'New Social History Foundation' (新しい社会歴史礎) with a QR code and contact information for Tokyo Shoseki.

Table with 2 columns: 記号, 配点. Rows 1-4 with points 6, 6, 6, 6.

- (1) ① エ
② ケ
(2) A ア
B ク
C オ
(3) ① オ
② ウ
③ ク
(4) (例) 天皇を中心とした国家。
(5) 武士
(2) 1) ア
2) 正倉院
(3) 1) エ
2) イ
3) ア→エ→ウ

「演習問題」や「総合問題」では、最近の入試問題を効果的に配置しています。

総合問題 1

p.154 ~ 155

- 1) (1) ① エ
② ケ
(2) A ア
B ク
C オ
(3) ① オ
② ウ
③ ク
(4) (例) 天皇を中心とした国家。
(5) 武士
(2) 1) ア
2) 正倉院
(3) 1) エ
2) イ
3) ア→エ→ウ

解説
1) (1) ① 9世紀の初めに、桓武天皇が即位し、空海は真言宗を開いた。
② 南北朝の動乱期に、最澄は天台宗を創り、密教の修行を重んじた。密教の修行は、密教の修行を重んじた。密教の修行は、密教の修行を重んじた。
(2) A は、604年に桓武天皇が制定した十七條の憲法、B は、1232年に北条泰時が制定した御成敗式目、C は、1018年、三女の威子が皇后になった日、藤原道長がよんだ歌である。
(3) 白河上皇が院政を始めたのは1086年、桓武天皇が大仏造立を命じたのは743年、後醍醐天皇が建武の新政を始めたのは1333年である。
(4) 聖徳太子が、中国にならって天皇を中心とした政治制度を目指した。そして、645年から大化の改新を経て、701年の大宝律令によって、天皇を中心とする中央集権国家の仕組みが整った。中央集権国家とは、政治の権力が中央の政府に集中している国家である。
(5) 古代は天皇や貴族が政治の中心であったが、中世では、武士が政治を行っていた。12世紀末からの鎌倉時代以後の、武士が政治を行っていた。12世紀末からの鎌倉時代以後の、武士が政治を行っていた。
2) 1) 奈良時代には、仏教を中心とし、遣唐使を通じて唐やアジアなどの影響を受けた国際色豊かな文化が栄えた。平安時代中ごろには、遣唐使の停止などによって唐風の文化の影響が弱まり、日本の生活や風土に合った文化が発展した。
(3) C の東大寺は醍醐と同じ敷地にあるが、醍醐は、下層が普通民、上層が神皇の2層からなっている。醍醐は、鎌倉時代に神皇によって中国から伝えられ、室町時代に、雪舟によって日本風の水墨画が大盛況された。
(4) 調・庸などの税や、兵役などの重い負担が農民に課されたのは、律令制度の下である。
3) A は「大宝律令が制定され」とあるので701年(都が平城京に移す少し前)、イは「京都に幕府が開かれた」とあるので室町時代、ウは「鎌倉で樹立された武家政権」とあるので鎌倉時代、エは「福原公朝と福原公朝」とよぶので福原公朝の相模平氏のころ

くり返し学習できるように、解答欄のみをプリントアウトできる「くり返し解答シート」を各冊子の1ページにあるQRコードからダウンロードできます。

付属の解答編は、ていねいな解説で理解を確実にします。